



平成 28 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 ワールドホールディングス
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 伊 井 田 栄 吉
(コード番号：2429、東証第一部)
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 安 部 英 俊
(TEL 092-474-0555)

(訂正・数値データ訂正)

「平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 28 年 8 月 3 日に発表いたしました「平成 28 年 12 月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所につきましては下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

「平成 28 年 12 月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、これを訂正いたします。なお、本件訂正による連結経営成績及び連結財政状態への影響はございません。

2. 訂正の内容

[該当ページ：添付資料4ページ]

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 財政状態に関する説明

②キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(前略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,357百万円の支出となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益2,088百万円に加えて、のれん償却額255百万円、法人税等の還付額736百万円等によるものであり、主なマイナス要因は、販売用不動産の増加額3,702百万円、仕入債務の減少額922百万円、法人税等の支払額2,038百万円等によるものであります。

(後略)

(訂正後)

(前略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,357百万円の支出となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益2,088百万円に加えて、のれん償却額255百万円、法人税等の還付額368百万円等によるものであり、主なマイナス要因は、販売用不動産の増加額3,702百万円、仕入債務の減少額922百万円、法人税等の支払額1,669百万円等によるものであります。

(後略)

[該当ページ：添付資料 10 ページ]

3.四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
(訂正前)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,925 | 2,088 |
| 減価償却費 | 90 | 153 |
| 減損損失 | 23 | — |
| のれん償却額 | 193 | 255 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △28 | △16 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 3 | 2 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 45 | 75 |
| 受取利息及び受取配当金 | △12 | △13 |
| 支払利息 | 67 | 82 |
| 有形固定資産除却損 | 8 | 8 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △536 | 184 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 58 | △175 |
| 販売用不動産の増減額 (△は増加) | 2,770 | △3,702 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △833 | △922 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 298 | 55 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △2,145 | 2,419 |
| その他 | △185 | △487 |
| 小計 | 4,743 | 8 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12 | 10 |
| 利息の支払額 | △64 | △74 |
| 法人税等の支払額 | △1,266 | △2,038 |
| 法人税等の還付額 | 31 | 736 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,456 | △1,357 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △300 | △0 |
| 非連結子会社株式の取得による支出 | △76 | △261 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △90 | △624 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △160 | △261 |
| 貸付けによる支出 | △214 | △252 |
| 貸付金の回収による収入 | 293 | 288 |
| 敷金及び保証金の純増減額 (△は増加) | 24 | △8 |
| その他 | 101 | 20 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △421 | △1,099 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 255 | 3,277 |
| 長期借入れによる収入 | 2,572 | 2,782 |
| 長期借入金の返済による支出 | △3,202 | △4,274 |
| リース債務の返済による支出 | △5 | △5 |
| 配当金の支払額 | △386 | △763 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △767 | 1,015 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 4 | △10 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,272 | △1,451 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,804 | 10,769 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 13,076 | 9,318 |

(訂正後)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,925 | 2,088 |
| 減価償却費 | 90 | 153 |
| 減損損失 | 23 | — |
| のれん償却額 | 193 | 255 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △28 | △16 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 3 | 2 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 45 | 75 |
| 受取利息及び受取配当金 | △12 | △13 |
| 支払利息 | 67 | 82 |
| 有形固定資産除却損 | 8 | 8 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △536 | 184 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 58 | △175 |
| 販売用不動産の増減額 (△は増加) | 2,770 | △3,702 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △833 | △922 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 298 | 55 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △2,145 | 2,419 |
| その他 | △185 | △487 |
| 小計 | 4,743 | 8 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12 | 10 |
| 利息の支払額 | △64 | △74 |
| 法人税等の支払額 | △1,266 | △1,669 |
| 法人税等の還付額 | 31 | 368 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,456 | △1,357 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △300 | △0 |
| 非連結子会社株式の取得による支出 | △76 | △261 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △90 | △624 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △160 | △261 |
| 貸付けによる支出 | △214 | △252 |
| 貸付金の回収による収入 | 293 | 288 |
| 敷金及び保証金の純増減額 (△は増加) | 24 | △8 |
| その他 | 101 | 20 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △421 | △1,099 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 255 | 3,277 |
| 長期借入れによる収入 | 2,572 | 2,782 |
| 長期借入金の返済による支出 | △3,202 | △4,274 |
| リース債務の返済による支出 | △5 | △5 |
| 配当金の支払額 | △386 | △763 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △767 | 1,015 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 4 | △10 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,272 | △1,451 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,804 | 10,769 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 13,076 | 9,318 |

以上